

事務事業評価シート

(H.30)No.	1271	(H.29)No.	1271
-----------	------	-----------	------

事務事業名	子ども発達支援推進費		
担当部局名	担当室名	室長名	
福祉子ども部	子ども発達支援センター	岡崎 みどり	

会計区分	事業コード	191802
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 民生費	子ども発達支援推進事業	
項 児童福祉費	(小事業名)	
目 児童福祉総務費	子ども発達支援推進費	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	支え合い健康でいきいきと暮らせるまち
	基本施策	3	地域福祉の充実
	施策	3	子ども・子育て支援
重点プロジェクト	2.若者定住促進プロジェクト		

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
発達に支援が必要な児童を対象に、関係機関と連携し総合的かつ継続的な医療を含む専門的な支援を実施します。また、保護者や家庭に対する支援を行うことにより、児童の健全育成に資するものとします。
事業内容
平成25年4月に子ども発達支援センターと教育センターを併設した子どもセンターを開設し、0歳から18歳までの子どもの育ちと学びを総合的、継続的にサポートすることができる体制整備を行いました。当該センターを拠点として、家族相談、発達支援教室、5歳児健康診査等を実施し、発達に支援が必要な児童の早期発見、早期支援を行います。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.29年度(事業量・取組実績)		H.30年度(事業量・取組計画)	
	主な事業の実績・計画	<ul style="list-style-type: none"> 小児科発達支援外来との連携・発達検査実施(90件) 要支援児童の保護者・家族の相談・支援 5歳児健康診査実施(受診率98.9%) 発達支援教室実施(就園前43回、就学前4回、同窓会3回、出前教室12回) あそびの広場(1回) 関西医科大学寄附講座研修会(4回) 発達支援研修会開催(6回) PFA研修実施(1回) 子ども発達支援センター運営協議会開催(2回) 保幼小中巡回訪問(定期・随時) 	<ul style="list-style-type: none"> 小児科発達支援外来との連携・発達検査実施、要支援児童の保護者・家族の相談・支援、5歳児健康診査実施、発達支援教室実施、各種研修会開催、子ども発達支援センター運営協議会開催、保幼小中巡回訪問 	<ul style="list-style-type: none"> 小児科発達支援外来との連携・発達検査実施、要支援児童の保護者・家族の相談・支援、5歳児健康診査実施、発達支援教室実施、各種研修会開催、子ども発達支援センター運営協議会開催、保幼小中巡回訪問

	H.29年度(決算見込)		H.30年度(作成時予算額)		H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)	H.33年度(計画予算)
	H.28繰越分	H.29現年分	H.29繰越分	H.30現年分			
①直接事業費		1,120千円		1,267千円	1,267千円	1,267千円	1,267千円
内訳(千円)	国・県支出金	0	0	0	0		
	地方債						
	その他()						
	一般財源	0	1,120	0	1,267	1,267	1,267
人工数	職員	7.01人		6.19人	6.19人	6.19人	6.19人
	臨時職員等	0.86人		1.33人	1.33人	1.33人	1.33人
②概算人件費	0千円	53,422千円	0千円	48,200千円	48,200千円	48,200千円	48,200千円
①+②総事業費	0千円	54,542千円	0千円	49,467千円	49,467千円	49,467千円	49,467千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.29年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
<ul style="list-style-type: none"> 5歳児健康診査を市内の全5歳児を対象に実施し、必要な支援を「支援の移行シート」で保護者同意のもと就学する小学校につながりました。 発達相談については、必要に応じ医療や教育、福祉等関係機関と連携し、より専門的な支援につながりました。相談のニーズは増加、複雑化傾向にあり、支援者のスキルアップや連携の拡大などの課題があります。 発達支援教室や定期巡回などで、子どもや保護者、支援者へのフォローも行いました。 発達支援研修会は、地域での支援にもつながるよう、まちの保健室や放課後児童クラブなどへも参加案内を行いました。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合(予定含む)、休止(予定含む)、廃止(予定含む)、事業完了(予定含む)	継続(現行)
---	--------

今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)	6. 事務事業の取組に関する市の計画
重点プロジェクトに位置付けされた事業でもあるため、各事業を更に充実させ関係機関との連携強化に努める必要があります。発達支援の推進に当たり、子どもセンターを活用した取組を実施し、名張市内の全ての子ども達が地域や家庭の中で、安心して生活できる「産み育てるにやさしいまち名張」の実現を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> ばりっ子すくすく計画 名張市障害者福祉計画